

産業建設常任委員会会議録

- 1 開会日時 令和7年5月27日（火）午前10時0分
- 2 閉会日時 令和7年5月27日（火）午前11時59分
- 3 会議場所 委員会室
- 4 出席委員
1 番 横山 裕太君 2 番 行本 大輔君 8 番 佐藤 武君
11 番 保田 守君 15 番 金谷 文則君 18 番 佐藤 武文君
- 5 欠席委員
な し
- 6 説明のために出席した者
産業振興部長 大窄 暢毅君 建設事業部長 桐谷 文昭君
赤坂支所長 小坂 憲広君 熊山支所長 稲生真由美君
吉井支所長 中務 浩行君 産業振興部参与兼
建設事業部参与兼 商工観光課長 金島 正樹君
総合政策部参与 岡本 和典君 農林課長 岡田 浩司君
建設課長 福圓 章浩君 上下水道課長 谷 宣道君
地域整備推進室長 森本 祐司君 農林課参事 服部 保典君
赤坂支所 産業建設課長 難波 明則君 熊山支所 砂子 武久君
吉井支所 産業建設課長 松下 和宏君
- 7 事務局職員出席者
議会事務局長 原田 光治君 副参事 青木 智彦君
- 8 協議事項 1) 事業の進捗状況について
2) その他

午前10時0分 開会

○委員長（金谷文則君） ただいまから産業建設常任委員会を開会いたします。

協議事項1番目、事業の進捗状況について、まず産業振興部から説明をお願いいたします。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） それでは、農林課所管部分について御説明いたします。

資料2ページを御覧ください。

1、事業の進捗状況について、(1)事業の進捗状況に係る報告について説明いたします。

資料5ページを御覧ください。

こちらの資料は、発注の予定価格が250万円以上の工事や委託業務の進捗状況について、市の建設工事等の発注見通しの公表に係る事務取扱要綱によりまして、当委員会では四半期ごとに御報告させていただいているものでございます。

林業総務費では、森林経営管理支援業務、森林経営管理事業支援業務ともに第2四半期に契約予定としております。

林業振興費では、松くい虫予防事業（空中散布）薬剤散布業務については、4月17日に契約締結済みとなっております。

薬剤調合積込業務につきましては、4月25日に契約締結済みとなっております。

今後につきましても各事業の進捗をお知らせしてまいります。

資料2ページにお戻りください。

続きまして、(2)松くい虫等防除事業につきましては、森林病虫害を早期かつ計画的に駆除し、その蔓延を防止することにより森林資源を保護するとともに、森林機能の発揮を図ることを目的に継続実施しているものでございます。

資料6ページを御覧ください。

実施予定区域は、熊山地域127ヘクタール、吉井地域158ヘクタールの合計285ヘクタールとなっております。散布日程は、本日5月27日から明日28日までの2日間で実施予定としております。雨天の場合は、順延して実施いたします。

また、資料7ページ、8ページには、松くい虫被害対策の概要と被害発生メカニズムの資料を添付しておりますので、後ほど御確認ください。

使用する薬剤は、家庭の衛生害虫を対象として私たちが普通使用しており、農業用としても広く使用されております低毒性の殺虫剤でございます。安全対策としまして、事業計画を事前に地区関係者に周知するとともに、散布日直前には関係地区に防災無線で周知を図り、当日は薬剤の飛散確認を行うこととしております。

農林課からは以上でございます。

○委員長（金谷文則君） 続いてお願いします。

○産業振興部参与兼商工観光課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 金島産業振興部参与。

○産業振興部参与兼商工観光課長（金島正樹君） 続いて、商工観光課の説明をさせていただきます。

資料の2ページをお願いいたします。

(1)事業の進捗に係る報告について、資料5ページをお願いいたします。

下の段が商工観光課案件となります。

250万円以上の工事を一覧表にしております。本年度につきましては、観光費の施設維持管理事業で2件ございます。現在工事の発注に向けて準備を進めているところでございます。

次に、資料2ページに戻っていただきまして、(3)あかいわ合同企業勉強会についてでございます。

こちらは令和7年3月14日に開催をいたしました。当日の参加企業が21社、高校生が40名の参加がございました。

学生、企業の参加者から満足度についてなんですが、こちらのほうは高い満足度を得られております。また、企業からは、これから就職活動、企業選びをする学生といいタイミングで交流することができて大変よかったとの御意見、それから生徒からは、自分が考えている進路の幅がたくさん企業の話を聞いて広がったとの感想をいただいております。

なお、9ページに参加者名簿の一覧、10ページに当日の様子を添付しております。後ほど御確認をお願いいたします。

続いて、資料3ページをお願いいたします。

イベントについて報告をさせていただきます。

まず、(4)第35回城山公園まつりについてです。

当日雨天の中、約1,000人の人出がございました。吉井中学校吹奏楽部の演奏、和太鼓、傘おどりや備州岡山城鉄砲隊などの演武や地元の模擬店などが出店しており、盛況なイベントとなりました。

なお、当日の状況については11ページに掲載しておりますので、後ほど御確認ください。

続いて、(5)熊山英国庭園スプリングフェスタについてでございます。

こちらは2日間開催され、初日は晴天に恵まれ、2日目は雨天となりました。約1,600人の来場者があり、磐梨中学校吹奏楽部の演奏で開幕し、パフォーマンス、阿波おどりなどのステージイベントや、市内グループによる絵画や写真の展示コーナー、模擬店などが出店し、盛況なイベントとなりました。

なお、当日の状況写真については12ページに添付しておりますので、後ほど御確認ください。

続いて、(6)産学官連携事業についてでございます。

市内事業者の抱える問題といたしまして、少子化による労働者人口の減少等により採用が困難な状況でございます。この問題解決の一助となるために、京都産業大学広田教授のゼミで赤磐市所在企業の県外からの新卒採用戦略の検討を目的とし、産学官連携事業を今年度から実施しております。参加者は記載のとおりとなっております。

以上で産業振興部の説明を終わります。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

それでは、ただいまの説明について質疑がございましたらお願いいたします。

○委員（保田 守君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 保田委員。

○委員（保田 守君） 松くい虫の防除について、面積が前年度よりは何か増えたんですかね。前は熊山地区のほうはなかったように思うんですけど、前年度に比べたらちょっと面積が増えとると、それから予算の中に前は養蜂をされておる人がおって、蜂を何か予防しとる間移動さすと、今年度はそれはないんでしょうか。前に私が質問したときに、見解の違いかもしれんけど、蜂を移動するというのは、蜂がそこへ置いとったら死ぬとか、そういうことがあるためにこれを移動して、噴霧した後、何日かしてまた帰るといったことだったんですけど、今回はもうこの業者の人というのはおられんですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） まず、実施面積の件についてです。

面積自体は昨年度と変わっておりません。

それから、養蜂関係の補償費のお話ですけど、今回の資料は250万円以上のものとなっておりますので、その補償費のほうは記入いたしておりません。実際には発生しております。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） 保田委員、よろしいか。

○委員（保田 守君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 保田委員。

○委員（保田 守君） 熊山のここは前回もあったということなんですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） はい。実施場所は変わっておりません。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。保田委員。

○委員（保田 守君） 課長の認識を、私ずっと反対して、その害について毎年言ってきたんですけど、個人の認識としたら安全なものだと思われてるんですか。仕事として……。

○委員長（金谷文則君） 保田委員、これ今やってる内容っていうのは進捗状況についての報告なので、そこをわきまえて質問してください。

○委員（保田 守君） 分かりました。ほんなら、この予定で進行していくということですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） はい、この予定で実施していきます。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 保田委員。

○委員（保田 守君） 予定の中で、さっき言われた蜂の業者の方はおられて、金額は低いけどやっぱり移動するということなんですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） 養蜂関係、熊山、吉井、それぞれ1件ずつございます。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（保田 守君） よろしい。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） 資料の3ページでちょっと教えていただきたいんですが、産学官連携事業についてということで、少子化による労働者人口の減少、もうこれ本当に深刻な問題だと思います。そうした中で、備前化成、それからモリマシナリー、2社が参加して連携事業を組むということだと思うんですが、これは産官学連携事業というのは具体的にどういったことを予定されてるのでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○産業振興部参与兼商工観光課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 金島産業振興部参与。

○産業振興部参与兼商工観光課長（金島正樹君） 産学官連携事業の具体的な取組でございますが、実際には学生にアンケート調査、Iターン就職やJターン就職についての意識調査、そ

れからIターン、Jターン就職者のヒアリング調査、それから学内で赤磐市企業の模擬就職フェアといたしまして、参加事業者が直接大学のほうに行って、そこで就職のセミナーという形を行います。それから、赤磐市への企業訪問、こちらは学生が赤磐市へ来て、企業への訪問というようなことを具体的に組み込んでまいります。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） これからどんどん取り組んでいただきたい事業だとは思いますが。

そうした中で、あくまでその2社と1大学ということで取りまとめといたしますか、対象はそういうことでもいいのでしょうか。というのが、ほかの赤磐市内の企業についても、非常に労働力不足ということで、これからの取組を研究していただかないといけない状況だと思えますし、赤磐市内には大学はありませんけれども、例えば環太平洋大学とかというのも本当に身近に存在するわけですので、そこら辺との連携はもう一切関係ないという判断でよろしいのでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○産業振興部参与兼商工観光課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 金島産業振興部参与。

○産業振興部参与兼商工観光課長（金島正樹君） 今回、参加事業者としては一応2社となっておりますが、当然その前に声かけ等もさせていただいております。その中で事業者、それから学生のほうでも、それぞれ興味が出る場合もございます。その辺は随時対応ができるようであれば、対応していくということです。

それから、今回大学なんですけど、京都産業大学の広田教授のゼミで行っております。ですから、大学の授業としての取組と今回はなっておりますので、今後は近隣の大学等にもそういった声かけなりをさせていただいて、積極的にこういった取組に参加していただければと思っております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（佐藤 武君） よろしい。

○委員（横山裕太君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 横山委員。

○委員（横山裕太君） 先ほどの松くい虫の防除の件なんですけども、進捗状況ではなく、今後のことについてちょっと御意見を述べさせていただきたいんですけども、私のほうで持っているデータだと、岡山県のほうでどんどん松くい虫の駆除剤の空中散布が減っていったるんです

けども、減っていったことによって被害は拡大していったというデータが出てくるんですね。ということは、あまりその効果が認められないんじゃないかということになってまして、その上でこれ神経に作用する農薬ですので、虫にとってもそうですけども、やっぱり人間にとっても、ほかの蜜蜂なんかの、先ほど養蜂の話もありましたが、自然の蜜蜂なんかにも影響があるんじゃないかということで、やっぱり蜜蜂に影響が出てくると植物にとっても影響が出てきて、その環境の破壊にもつながってしまいますし、人間にとっては、例えば長野県松本市のほうでお子さんの学習障害が出たとか、そういうデータも出てまして、この地域だと暮田、八島田だと、下のほうに和気町の佐伯小学校もありますし、勢力のほうでは白陵高校なんかもありますので、そういった子供たちの影響というのはすごいちょっと心配だなと。だから、効果がなくてちょっとそういう懸念があるというところをこれから続けてもいいのか、ほかの地域も以前はやっていたところが赤磐市でもどんどん減っていったところもございますので、この2つの地域、お金のこともありますので、ちょっとその効果がもしもないのであれば、今回はやらなくてもいいのかなと思います。

ただ、地域住民の方がやっぱり松を守りたいという気持ちもあると思いますので、ほかの方法、例えば松くい虫に強い桃太郎松というんですかね、そういった松の植林なんかもやられてるところもあると聞きますので、そういった違う方法で松を守るというやり方も、今回はちょっと検討していただきたいなと思います。よろしくをお願いします。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、以上で産業振興部の進捗状況の説明、質疑を終わります。

次に、建設事業部から説明をお願いいたします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） それでは、資料の14ページをお願いいたします。

1、事業の進捗状況について、(1)事業の進捗状況に係る報告について説明をさせていただきます。

資料16ページから20ページをお願いいたします。

16ページ、17ページにつきましては、令和6年度から令和7年度に繰越した主要事業を記載してございます。

16ページの林業振興費の1番でございますが、林道高星線開設工事につきましては、工事着手前に現場内で豪雨によるのり面崩落が発生しまして、計画していた工事に着手できないという状況になってございます。現在のところ、その崩落原因を調べるためにボーリング調査を行っており、その結果を受けて工法検討を行い、対策工事を実施する予定としてございます。

道路新設改良費関係の2番、市道岩田長尾線改良工事その7及び3番、岩田長尾2号支線改良工事につきましては、新拠点整備に係る道路整備でありまして、6月末の完成を目指して進行管理を行っております。

続きまして、18ページから20ページに令和7年度における250万円以上の主要事業を記載しております。

18ページ、農地費関係の2番、斎富・南方ほ場整備確定測量業務につきましては、斎富・南方地区で令和8年度の換地処分の予定で圃場整備事業を実施しておりまして、今年度で圃場の区画整理が完了することから、約35ヘクタールの確定測量を実施するものでございます。

それから、20ページ、都市計画総務費関係の1番、公共擁壁補修設計業務につきましては、山陽3丁目地内にあります大規模盛土の区域内にございます公共擁壁で、令和5年度に盛土の詳細調査を実施したところ、盛土自体は健全であるという結果になってございますが、擁壁自体、練り積みブロック自体にクラックが入っておりまして、その対策工事の補修設計を行う予定としてございます。

その他記載している業務、工事につきましても、現在のところ早期発注に向けて測量設計を行っており、今後の委員会において進捗状況を報告してまいります。

以上で建設課の説明を終わります。

○委員長（金谷文則君） 続いてお願いします。

○上下水道課長（谷 宣道君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 谷上下水道課長。

○上下水道課長（谷 宣道君） 続きまして、上下水道課から事業の進捗状況について御報告させていただきます。

資料14ページをお開きください。

(1) 事業の進捗状況に係る報告についてということで、資料につきましては21ページ、22ページでございます。

資料を進んでいただきまして、21ページでございます。

こちらにつきましては、令和6年度から令和7年度に繰り越した主要事業の一覧でございます。上の表が水道関係で、配水管移設工事が1件、配水管布設工事が2件、水源地設備更新工事が1件の計4件でございます。

下の表が下水道事業関係でございます。

下水道の整備工事に係るものが1件、計画策定など委託業務が3件の計4件でございます。既に完了しているものもございまして、それぞれ早期完成に向け、事業を進めております。

地区名、件名、概要などにつきましては、記載しておりますので御確認をいただきたいと思っております。

続きまして、22ページをお開きください。

令和7年度における250万円以上の主要事業を記載しております。

こちらの表も上段が水道事業、下段が下水道事業でございます。

まず、上段の水道事業におきましては、下水道工事に伴う水道管移設工事、配水池の耐震診断業務など計15件を実施していく予定といたしております。今年度より老朽化対策といたしまして、老朽化等により突発的な漏水箇所が多く、なおかつ断水の影響範囲が広い路線を順次計画的に改良していく予定でございます。今年度につきましては、3番、沼田地区と、8番、大屋地区を実施する予定でございます。

次に、下段の下水道事業につきましては、昨年度から引き続き2番と3番、西中地区、5番、東窪田地区、8番、尾谷地区など汚水管渠埋設工事、10番、11番、12番、各地域のマンホールポンプ監視装置更新工事及び計画策定業務など19件を実施していく予定といたしております。それぞれ早期発注に向けまして、設計、積算、また地元関係機関との調整を行っております。今後の委員会において進捗状況を御報告させていただきます。

以上で上下水道課の事業の進捗状況について報告を終わらせていただきます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

建設事業部の説明は終わりました。

質疑はございませんか。

○委員（横山裕太君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 横山委員。

○委員（横山裕太君） すみません、ちょっと事前に勉強不足で申し訳ないんですけど、下水道事業のところで、赤磐市としては結構まだくみ取りの地域もあると思うんですけども、やっぱりそういうところの住民の方から結構不便だというお声をいただくんですけども、赤磐市としては全部下水道を整えるっていう方針は考えられてるんでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○上下水道課長（谷 宣道君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 谷上下水道課長。

○上下水道課長（谷 宣道君） 下水道につきましては、事業計画ということで各地区、下水道を整備する地域を計画いたしております。特に吉井とか、山間地域におきましては下水道管を引っ張るということが難しい地区もございます。そちらにつきましては、浄化槽という格好で浄化槽の補助制度もございます。そちらと両方を活用して水洗化を行っていく計画といたしております。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

横山委員。

○委員（横山裕太君） 山間部に関しては分かりました。

例えば穂崎とかも、そういった地域がまだあるって聞いているんですけど、そういった通しやすいつころに関しては今後どうでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○上下水道課長（谷 宣道君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 谷上下水道課長。

○上下水道課長（谷 宣道君） 穂崎地区等につきましては、事業計画に入っております。工事がちょっと遅れている部分もございますが、順次これから下水道を整備していく予定でございます。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（横山裕太君） 分かりました。ありがとうございます。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんでしょうか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） 下水道関係でちょっと私勉強不足なんですけれど、マンホールポンプ監視装置更新工事というのがあるんですが、それぞれの山陽、熊山、吉井、そういう農業集落排水ですか、これ。これちょっと具体的にどういう内容なのか、教えていただけますか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○上下水道課長（谷 宣道君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 谷上下水道課長。

○上下水道課長（谷 宣道君） 今年度マンホールポンプの監視装置の更新ということで、現在FOMA回線を使って、携帯電話のほうに異常が出たら故障の通報が入ってきております。そのFOMA回線がもう終了するというので機種を交換するというので、今後は携帯電話とパソコンに故障情報が飛んでくるようなシステムのほうに変更する予定でございます。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（佐藤 武君） はい。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんでしょうか。

○委員（保田 守君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 保田委員。

○委員（保田 守君） 岩田長尾線の工事を今やられとんで、だんだん出来上がっていきょうるのは分かるんですけど、あそこの私が気になっとなるのは、一番向こうのほうへ解体屋が1軒あります。それで、何年か前にお聞きしたときに、もう移転してもらおう予定にはなっとなるとい

うことじゃったんじゃないけど、何か見よったら、材料は多少昔に比べて減ってきて、これは移転する用意をしとんだなと思うんですけど、今後の展望としたら、あの業者はいつ頃ののいてもらうことになっとんかな、今分かれば。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設事業部参与兼総合政策部参与（岡本和典君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡本建設事業部参与。

○建設事業部参与兼総合政策部参与（岡本和典君） 御質問の解体工場でございますけれども、移転に係る契約は締結済みでございます。今実際あそこで業務をなさっておりますので、こちらとすれば道路工事に支障がない時期までに移転をお願いしますということで交渉といたしますか、お願いはしておりますけれども、業務中ということもありまして、移転の時期について今調整をさせていただいてるところでございます。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（保田 守君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 保田委員。

○委員（保田 守君） もう支障のない範囲でできるだろうということですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設事業部参与兼総合政策部参与（岡本和典君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡本建設事業部参与。

○建設事業部参与兼総合政策部参与（岡本和典君） そのように調整を今させていただいてるところでございます。

○委員長（金谷文則君） よろしいか。

○委員（保田 守君） はい。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ないようですので、以上で質疑を終了したいと思います。

それでは、続きまして協議事項2番目、その他に入ります。

まず、産業振興部から説明をお願いいたします。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） それでは、資料4ページを御覧ください。

2、その他、(1)6月議会提出予定議案についてでございます。

令和7年度一般会計補正予算（第1号）につきまして、資料13ページを御覧ください。

6款1項3目の施設管理運営費では、旧赤坂天然ライスの排水処理施設解体工事及び舗装復

旧工事に係る経費を補正する予定です。また、是里ワイナリーポンプ設備に係る経費を補正する予定です。

なお、旧赤坂天然ライスの排水処理施設解体工事及び舗装復旧工事に係る経費の財源につきましては、公共施設等整備基金から繰り入れる予定としております。

農林課からは以上でございます。

○委員長（金谷文則君） 続いてお願いします。

○産業振興部参与兼商工観光課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 金島産業振興部参与。

○産業振興部参与兼商工観光課長（金島正樹君） 続いて、商工観光課の説明をさせていただきます。

資料4ページに戻っていただきまして、(1)6月議会提出予定議案についてということで、資料13ページをお願いいたします。

令和7年度赤磐市一般会計補正予算（第1号）でございます。

真ん中のところになります。

7款1項3目の施設維持管理費では、英国庭園の修繕、改修に係る経費、また竜天天文台改修に係る経費を補正する予定でございます。

次に、下の段7款1項3目の観光振興対策事業費においては、英国庭園25周年事業に係る経費及びお笑い赤坂亭30周年定例寄席に係る経費を補正する予定でございます。

次に、資料4ページに戻っていただきまして、(2)「もにす認定」についてでございます。

もにす認定制度とは、障害者雇用の促進及び雇用の安定に関する取組の実施状況などが優良な中小事業主を厚生労働大臣が認定する制度でございます。こちらについては、(株)熊山LIXIL製作所がこのたび認定事業者となりました。令和7年4月30日に認定書を交付されておりますので、報告させていただきます。

産業振興部からは以上となります。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

それでは、産業振興部についての質疑はございませんか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） 商工観光課ばかりになるような気がするんですが、もにす認定についてということで今説明いただいたんですが、この認定をすることによって特別な補助の取得であるとか、何らかの国からの援助があるとか、そういうことが含まれるんでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○産業振興部参与兼商工観光課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 金島産業振興部参与。

○産業振興部参与兼商工観光課長（金島正樹君） こちらのほう今認定をされたということで、何かその補助制度とかが優遇されるとかというような御質問ですが、そういったことは今のところは聞いておりません。

以上となります。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（佐藤 武君） はい。

○委員長（金谷文則君） 他にはございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ないようですので、質疑を終了して、建設事業部の説明をお願いします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） それでは、建設課から説明をさせていただきます。

資料14ページをお願いいたします。

2、その他、(1)6月議会提出予定議案について、①令和7年度赤磐市一般会計補正予算(第1号)について、資料の23ページをお願いいたします。

令和7年度の当初予算におきましては義務的経費のみを計上しておりましたので、今回は地元からの要望による維持補修や改良などの補正をさせていただく予定としておりまして、工事場所は資料の25ページに位置図を添付してございます。

農地費の小規模ため池補強事業費につきましては、日古木大池の改修工事を実施する予定としておりますが、令和7年1月中旬に斜樋管からの漏水が確認されましたが、本復旧をするためには長期間を要し、営農に支障が生じるため、地元との協議を行った結果、3月の初旬に応急の修繕を実施しております。営農が可能な状況にはなっておりますが、まだ完全には止水ができていないため、稲刈り後に本復旧工事を行う必要があります、測量設計委託料、工事請負費を補正する予定としております。

また、今年度新拠点の関連工事を含め、ほかにも多くの業務を行う予定であります。それに対応するための技術者が不足してございます。その不足を解消し、業務が滞らないようにするため、変更数量の取りまとめ、変更図面の作成など、技術支援業務を行うための補正をする予定としております。

以上で建設課の説明を終わります。

○委員長（金谷文則君） 続いてお願いいたします。

○上下水道課長（谷 宣道君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 谷上下水道課長。

○上下水道課長（谷 宣道君） 続きまして、上下水道課よりその他について説明をさせてい

たきます。

建設事業資料14ページをお開きください。

2、その他といたしまして、(1)6月議会提出予定議案につきまして御説明をさせていただきます。

資料24ページをお開きいただきたいと思います。

令和7年度赤磐市一般会計補正予算（第1号）についてです。

4款2項1目清掃総務費につきまして、浄化槽整備事業補助金を計上いたしております。今回の補正予算につきましては、下水道供用開始区域との接続要件等、地域格差軽減及び公共水域の水質保全を図ることを目的といたしまして、事業計画区域外の事業所への補助金の交付を開始するものでございます。10人槽以上の申請が予想されることから、補正予算を計上いたしておるところでございます。

内容につきましては、11人槽以上の補助金で補助金額93万9,000円の2基分187万8,000円を計上させていただいております。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

その他、続けてお願いします。

○上下水道課長（谷 宣道君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 谷上下水道課長。

○上下水道課長（谷 宣道君） 続きまして、資料14ページをお開きいただきたいと思いません。

(2)桜が丘西6丁目地内で発生した下水道管破損についてでございます。

発生状況、対応状況を時系列に掲載しております。また、今後の予定及び計画を併せて記載しております。

まず、発生日でございますが、令和7年4月21日月曜日、場所につきましては赤磐市桜が丘西6丁目地内、事故状況及び対応につきまして、4月21日18時頃、市民の方より下水のマンホールから水があふれていると上下水道課のほうに通報がございました。18時30分頃、職員による現地確認を行っております。それで、マンホール内が満水であったため、業者に汚水の抜き取り及び管渠の詰まり抜きを依頼いたしております。

日付が変わりまして、4月22日午前2時頃、作業中、歩道に直径50センチメートル、深さ20センチメートル程度の陥没が発生いたしました。その場で緊急対応といたしまして業者に依頼し、破損箇所の確認及び応急措置を実施いたしております。22日の17時頃、歩道を掘削し、破損箇所約30メートルを露出させまして、汚水の通水を確保し、安全対策といたしまして交通誘導員の配置及びバリケードを設置し、初日の作業を終了いたしております。

次に、4月23日午前9時より、2日目の工事を開始いたしております。その日の17時頃、破

損した管渠のうち約10メートルの修繕を完了して、前日と同じように安全対策といたしまして交通誘導員の配置及びバリケードを設置し、作業を終了いたしております。

4月24日9時頃、また作業を開始いたしまして、12時頃、管の修繕を全て完了いたしております。歩道の埋戻しと舗装の復旧工事をお昼から始めさせていただきまして、17時10分頃、修繕工事の完了をいたしております。

今回の破損箇所につきましては、圧送管の流入マンホールの下流ということで硫化水素が特に発生しやすい場所となっており、設置から約50年経過している管となっております。今後の予定につきましては、破損箇所の上下流約400メートルにつきましては、現在業者を決定いたしまして、6月中にはカメラ調査を実施する予定でございます。

その他の場所、今後につきましては下水道事業計画の中で腐食点検箇所に位置づけられている33か所につきまして、優先順位をつけさせていただきまして、順次カメラ調査を実施したいと考えております。

また、資料26ページから32ページに現場の当日の写真を載せておりますので、御確認をお願いいたします。

以上で上下水道課の説明を終わらせていただきます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 森本整備推進室長。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 資料の15ページをお願いいたします。

(3)新拠点予算に関連しまして、この新拠点が都市計画の変更によって位置づけられた経緯がございますので、建設課からの説明の前に少しお時間をいただきまして、地域整備推進室から概略を説明させていただきます。

資料は33ページをお願いします。

この資料は、令和6年2月29日の産業建設常任委員会で都市計画の変更概要について説明をさせていただいた際の資料になります。

まず、都市計画についてですが、簡単に申し上げますと、赤磐市内では山陽地域の全域と熊山地域の一部、桜が丘東地区が都市計画区域に指定をされています。市街化を促進する区域、これを市街化区域といいます。それから、市街化を抑制する区域、これを市街化調整区域といいます。この2つの区域に区分されております。また、どのような建物が建築できるかといった規制なども定められています。

それでは、資料が前後しますが、45ページをお願いします。

このフローが赤磐市の都市計画を変更した際の手続を示したものになります。

一番上の枠に立地適正化計画（案）の公表とありますが、この計画が持続可能なまちづくりを推進していくための指針で、都市計画変更の基礎となります。そして、この立地適正化計画

に基づき、都市計画の変更を県に申し出た後は決定権者である岡山県が国との協議など、法律に沿った手続を進めていき、都市計画の決定、告示となります。この決定の告示が令和6年12月20日になさされてございます。

ここからは資料の中で新拠点の部分をかいつまんで説明をさせていただきます。

戻って、34ページをお願いいたします。

34ページから36ページまでは、立地適正化計画の作成から都市計画の変更に至る背景とか経過などになります。この立地適正化計画において、市の課題等を克服する上で市に不足している機能を整理し、新拠点に集約させていく、またそのために都市計画を変更していくといった方針を掲げております。

37ページをお願いいたします。

37ページの図が都市計画変更前の赤磐市の都市計画図になります。

次に、38ページ、39ページは変更後の総括的な資料になりますが、38ページの下に①と書いた赤枠があると思います。こちらが市街化区域に編入した新拠点のエリアになります。

40ページをお願いします。

こちらが新拠点における土地利用のゾーニングや道路の配置計画などになります。

41ページは、新拠点によって目指すまちづくりを実現していくためのルールとなる地区計画の概要になります。上段の表にはゾーンごとの土地利用方針、赤字で書いてありますが、番号を振ってます。1、生活利便ゾーン、2、公共ゾーン、3、賑わい交流ゾーン、4、産業振興ゾーンといった形で、ゾーンの方針を定めております。

下の段はゾーンごとの建築物の制限の概要になります。

前段でも申し上げましたが、この都市計画の変更につきましては国、県、市で度重なる協議を行いまして、法律に基づく手続を経て、令和6年12月20日に決定されております。

地域整備推進室からの経緯についての説明は以上となります。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 続きまして、建設課のほうから新拠点の予算につきまして説明をさせていただきます。

資料46ページをお願いいたします。

令和7年2月28日の議会におきまして、新拠点整備事業の予算執行の留保の決議をいただいておりますが、この留保につきまして皆様に解除の御検討をいただくため、その内容についての説明をさせていただきます。

新拠点整備に係る予算としましては、左上の表にあります9月補正と3月補正の繰越明許費がございますが、このうち3月補正の繰越明許費7,950万7,000円につきましては、既に契約済みで執行中の事業であるとのことで、3月議会で繰越しの承認をいただいております。9月補

正の繰越明許費、赤字で書いてある数字ですが8億4,318万7,000円、この額が現在のところ未契約でありまして、予算執行の留保をしてございます。その詳細な内容について、それぞれの工区ごとの事業費を赤字で記載しておりますので、説明をさせていただきます。

赤色の路線につきましては市道岩田長尾線で、用地買収から設計、工事発注、工事監理までを市で行う通常の市道の整備でございます。岩田長尾線の当初の目的は、新拠点整備とは関係なく、新下市橋、下市橋の交差点で慢性的に発生している渋滞を緩和するバイパス道路として市道認定された路線であります。今後の事業費につきましては、交差点改良工事、舗装工事などを行う工事請負費2億6,628万8,000円、それに伴う補償費1,640万円でございます。

黄色の路線につきましても、赤色の路線と同様に用地買収から工事監理までを市で行う市道の整備でございます。現在も工事を継続中であり、その工事は3月議会において繰越しの承認をいただいております。今後も新拠点における良好な土地利用及び渋滞緩和対策に資する路線として整備を進めてまいり予定でありまして、その事業費は交差点改良工事、舗装工事などを行う工事請負費1億1,518万1,000円でございます。

緑色に着色している区域につきましては、道の駅や交通拠点を含む公共ゾーンとしまして市が整備する区域でありまして、その事業費は測量設計費2,131万8,000円、土地購入費3億6,000万円でございます。この2つの路線及び1つの区域の整備につきましては、民間の開発とは関係なく地区計画で位置づけられた施設の整備でありますので、市が事業主体となって整備を進めていくものでございます。

次に、青色の路線についてでございますが、これも地区施設道路であるため、市で整備すべき路線であると考えておりますが、民間の開発区域内の道路であるため、工事は民間の造成と合わせて開発事業者で行い、整備後に用地費のみを市が負担するというような予算を計上しております。ほかの工区と整備の手法、費用の負担が異なりますが、青色の路線につきましても新拠点における良好な土地利用及び渋滞緩和対策に資する幹線道路であることから、市で整備すべき路線と考えております。

以上が執行留保をいただいております予算の内容となりますが、この予算につきましては合併特例債を財源としておりまして、令和7年度末での完了を目指していることから、早急に事業の着手をしたいと考えております。

合併特例債は貴重な財源でありますので、令和7年度末でできるだけ多くの事業が完了できるよう、新拠点予算、全体の予算執行の留保を解除していただくようお願いいたします。どういった手続で解除になるのか、御検討をしていただきたいと思いますと考えております。

続きまして、資料15ページに戻っていただきまして、(4)岩田長尾線のルート変更についてでございます。図面を資料47ページに添付しておりますので、御確認をお願いいたします。

この図面の左端の上から下に県道岡山吉井線がありまして、そこから右に延びておりますのが岩田長尾線になってございます。当初は平成28年度に測量設計をしておりますが、地元との

協議を重ね、耕作地の分断を避けるという設計思想から、できるだけ既存の道路を拡幅するという灰色のルートで計画をしてございました。このルートで平成30年度から地権者との交渉を行いまして、工事が可能な場所から道路改良工事を実施してまいりましたが、令和6年度に都市計画が変更され、河本、岩田地区に道の駅の整備、大型商業施設の誘致が可能となったことから、当初計画から情勢が変化し、より多くの交通量が見込まれることとなりました。先ほど新拠点の予算の中で説明したとおり、岩田長尾線の当初の目的は新下市橋、下市橋交差点で慢性的に発生している渋滞緩和を目的とするバイパス道路としての整備というものでございますが、新拠点が整備された後はそのアクセスにも利用されることとなります。当初の灰色のルートでは線形がきついため、より安全に通行できるよう緩い線形に変更した赤色のルートで検討しましたところ、地権者との用地交渉で了解が得られたため、岩田長尾線のルートを変更するものでございます。

続きまして、また資料15ページに戻っていただきまして、(5)ゆめモール山陽店の施設配置計画についてでございます。

施設図を資料の48ページに掲載してございます。

ゆめモール山陽店につきましては、既に幾つかの店舗が開業しておりますが、今後大きな集客が見込まれるマクドナルドが6月5日、イズミが6月12日に開業することが決まっております。周辺の安全対策については、交通管理者である赤磐警察署と道路管理者である赤磐市、地元関係区などの関係機関と協議を行い、右折車線の設置や駐車場出入口の視認性の確保など、交通安全対策に努めた計画を策定し、大規模小売店舗立地法の届出を行っております。

店舗の前面道路が小中学校の通学路となっており、登下校時の安全対策については一層の注意を払う必要があることから、令和7年5月15日に赤磐警察署、山陽小及び高陽中学校の校長先生、市学校教育課、くらし安全課、建設課、イズミ、マクドナルドの関係者で現地確認を行い、カーブミラーの設置や駐車ますの位置変更などのハード対策を要望し、また交通誘導員の配置などのソフト対策を要望しております。

交通誘導員の配置につきましては、開業後しばらくの間は配置する予定とのことですが、その後も状況に応じては対応していただくよう要望し、了解をいただいております。

○上下水道課長（谷 宣道君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 谷上下水道課長。

○上下水道課長（谷 宣道君） 続きまして、上下水道課より(6)新拠点浸水対策に係る地元説明会について御報告させていただきます。

資料の15ページに戻っていただきたいと思っております。

去る5月11日曜日、午後6時より高月公民館において岩田地区住民を対象にした新拠点浸水対策の地元説明会を開催いたしました。当日は17名の参加があり、資料49ページに示しております浸水対策図を用いて説明を行いました。この浸水対策図につきましては、1月の当委員

会でお示しした資料でございます。参加者から特に質問もなく、皆様に御理解をいただいております。

以上で上下水道課の説明を終わらせていただきます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） それではまた、資料の15ページに戻っていただきまして、(7)令和7年度における期成会等要望活動についてでございます。

資料50ページをお願いいたします。

赤磐市が事務局を務めております道路、河川関係の期成会は全部で5つありまして、毎年その期成会から県、国に対して要望活動を行っております。今年度におきましても、令和7年7月23日に中国地方整備局へ、8月6日に国土交通省本省並びに県選出国會議員の方々へ要望活動を行う予定としております。

要望の内容としましては、要望一覧にありますとおり、国、県道、河川の整備に係る要望と、今年度はそれにプラスして下水道関連の要望も行う予定としておりますので、御報告をさせていただきます。

以上で建設事業部のその他の説明を終わります。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

以上で建設事業部からの説明が終わりましたので、質疑を受けたいと思います。

質疑はございませんか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） 桜が丘西6丁目の下水管の破裂工事についてお尋ねします。

まず、これから水道管も含めて下水道管、老朽化が進んで、こういった状況が発生することが大いに予想されるという状況の中で、迅速な対応をしていただいたことをまずお礼を申し上げますが、この6丁目の下水道管の改修工事は予算的には幾ら必要だったのでしょうか。それから、緊急の改修工事をするに当たって業者選定はどのようにされたのか。それから今後こういう状況が発生しますので、業者選定についてもどういう判断を進めるのかを決めておかないといけないのかなと思うんですが、そのあたりの御見解はいかがでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○上下水道課長（谷 宣道君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 谷上下水道課長。

○上下水道課長（谷 宣道君） 今回の費用につきましては、まだ請求が来てございませんが、緊急ということでは言われたように、今回工事の発注につきましては管工事組合が赤磐市に

ございます。そちらにお諮りをして対応していただける業者、緊急ということで、そのような対応で業者選定をさせていただいております。

今後につきましても管工事組合と、それを含めまして協定なり、緊急時の対応について協議をさせていただいて、今後もこのようなスムーズな対応ができるようにやっていきたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） よろしいですか。

他にございませんか。

○委員（横山裕太君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 横山委員。

○委員（横山裕太君） 14ページの今の下水道管破裂の件の今後の予定及び計画のところなんですけど、腐食点検箇所33か所の診断を今後実施予定ということなんですけど、こういう腐食点検箇所ってというのはどういうふうな方法で見つけるんでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○上下水道課長（谷 宣道君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 谷上下水道課長。

○上下水道課長（谷 宣道君） 下水道計画のほうに上げてます。今回もですが、圧送管といまして、ポンプから送ってくるマンホールの箇所等がございます。そちらは特に流入量が多いので、硫化水素等が発生しやすい場所となっております。そちらについて順次優先順位をつけてやっていきたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） どういうふうなやり方かということ、どうやって見つけるかということ、もうちょっと詳しく。

○上下水道課長（谷 宣道君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 谷上下水道課長。

○上下水道課長（谷 宣道君） 場所につきましては、計画のほうで各地区そのような箇所を位置づけております。それが33か所、吉井、熊山、山陽、桜が丘東、各処理区がございます。そちらで33か所、計画のほうでここは腐食点検箇所というのをあらかじめ設定しておりますので、そちらのほうから順次やっていきたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） 横山委員。

○委員（横山裕太君） そこは安心だと思んですけど、やっぱり今回のこともあって市民の皆様、ほかのところは大丈夫なのかっていう心配もあると思うんですけど、もうほかはそういう腐食箇所ってのは見つけるような活動というか、されてるんでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○上下水道課長（谷 宣道君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 谷上下水道課長。

○上下水道課長（谷 宣道君） ほかの箇所につきまして、これ以外につきましても桜が丘及び山陽団地につきましては設置から50年近く経過しております。そちらについても今後調査を行っていく予定にはいたしておりますが、時期等についてはまだ明確にはしておりませんが、今後そういう箇所、年数がたつてるところも順次行っていきたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

他にございませんか。

横山委員。

○委員（横山裕太君） 新拠点予算のところについて、私も途中からなのでちょっと分かってないところもあるんですが、やっぱり住民の皆様も、この新拠点だったり、コストコが来るかどうかというところで、一番言われるのが渋滞のところなので、市民の声がそういうことなので、それを払拭するのがすごい課題なのかなと思うんですけども、ということはやっぱりコストコが来るかどうかというのがその判断において非常に重要なポイントになってくると思うんですけど、実際その辺はどうなってるんですかね、コストコが来るかどうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設事業部参与兼総合政策部参与（岡本和典君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡本建設事業部参与。

○建設事業部参与兼総合政策部参与（岡本和典君） 市長が交代されて新市長が就任されてから、コストコの担当者の方と面会をしております。市長のほうから現在の進出の意向について確認をさせていただいて、引き続き前向きに検討している状況だと、これに変わりはないと、ただし最終の決定には至っていませんという回答をいただいております。現在の状況はそういうところです。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（横山裕太君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 横山委員。

○委員（横山裕太君） 今の感じだと、いつまでに結論が出るとかも、やっぱり分からないということなんですかね。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設事業部参与兼総合政策部参与（岡本和典君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡本建設事業部参与。

○建設事業部参与兼総合政策部参与（岡本和典君） コストコのほうも中でいろいろあちらの事業の予算規模でありますとか、そういったことについて調整をされているところだということと聞いております。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

横山委員。

○委員（横山裕太君） となると、やっぱりコストコが来るかどうかの決定が、動向が分からないままにこの予算を決めなきゃならないということになっちゃうんですかね。

○委員長（金谷文則君） 答弁をお願いいたします。

○建設事業部参与兼総合政策部参与（岡本和典君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡本建設事業部参与。

○建設事業部参与兼総合政策部参与（岡本和典君） これ卵が先なのか、鶏が先なのかという議論になってはしまうんですけれども、コストコのほうも市のインフラ整備等の状況について様子を見ているというところもございます。市としては、コストコが来るからこの予算だということではなくて、このエリアっていうのは、先ほど地域整備推進室長からも説明をさせていただいたとおり、コストコという単独の企業ではなくて、圏域外から、市外から集客を見込まれる、そういった大型商業施設をこちらに配置をしたいというのが市の都市計画の考え方でございますので、これは特定の企業ということではなく、いずれの企業が来るにしても、そういった種の業態の施設が来るということを想定してのこの予算ということで考えていただけたらと思います。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（横山裕太君） はい。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） まず、今日改選後初めて産業建設常任委員会が開かれました。そうした中で、私は本当に残念なんですけれども、今日は市長が出席するのかなという、本当に大きな期待を持ってたんですけれども、残念ながら出席ではないと。といいますのが、選挙の段階でいろいろな前田市長の政策とかを拝見すると、市民の理解を得て、議会の理解を得て、新拠点整備を進めたいというような趣旨の発言がなされてたと思うんですけれども、先ほど新拠点整備に関わる予算をどういう形で進めていくかという課長の説明もありましたけれども、これを進めるためには、やはりトップである市長がこの新拠点整備を何が何でも進めたいという強い思いでやっぱり説明をしていただかないと、私は駄目じゃないかなというふうに思うんですよ。

そして、その予算を通すためにはどうしたらいいでしょうかというような投げかけがあった

と思うんですけれども、これは改選前の議会でもさんざん議論をされたと思うんですけれども、いわゆる市民説明会が相対的に少ないというようなこと、それからはっきり言ってコストコということで大迷惑ですというような発言をされる議員もおられたということもありました。そうした中で、基本的には新しい市長が明確にこの新拠点整備、誘致企業を、今岡本参与のほうも申し上げましたけれども、コストコに限定するのではなくて、赤磐市の活性化のために企業を誘致しましょうということで、これは10年以上前から話が進んできたことですので、これを初めての委員会の中で市長が出てこずに、ぜひとも予算の上げ方を御協議いただきたいということでは、私はないと思うんですよ、基本的にはね。

だから、新市長の新拠点整備に対する取組、もうぜひとも進めなければならないというやっぱり強い意志をお示しいただいて、重ねての発言になります、企業がどこを誘致しようが、やはり市長の強い思いで、合併特例債の期限があるということであればなおさらこの事業を市長のトップとして意見を述べて、委員会の中で説明すべきだと思いますし、この市民説明会も具体的にいつまでに何回するのか、もう市民全てが賛成すると私は思っておりません。反対もあれば賛成もあるという、これは当然の状況だと思いますので、そういう意味でその予算を通すことについて、私はまず第一にやっぱり市長の強い思いというのは必要だなというふうに思います。そこら辺でこれから新拠点の予算をどうするのかという話で皆さんの御意見が出るんだろうと思いますけれども、まずそのトップである市長の考えが明確に聞けないという状況でありながら、予算を9月ですか、6月には提案しないという話かなと今思ったんですが、9月の段階でどういう形で予算を上げるのか、その説明会をいつまでに何回するのか、そういう形を示していただかないとなかなか難しいんじゃないかなと思いますよ。

○委員長（金谷文則君） そのような御意見がありますので、市長のほうへ届けていただきたいと思います。

他にございませんか。

○委員（横山裕太君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 横山委員。

○委員（横山裕太君） 新拠点の計画で、先ほどのコストコ以外の商業施設が来るという場合も考慮するという計画ということなんですが、ここの賑わい交流ゾーンのところとその商業施設を持ってくるってことだとは思うんですけれども、こちらのその目的として、絶対商業施設を置かなきゃなんないのかなってというのがちょっと疑問で、っていうのは赤磐市民の雇用の促進だったり、税収を増やしたいというところが目的だったら、何でもかんでもその商業施設でなくてもいいのかなと思ってまして、今回そのゆめモールとかそういったところもできている中で、やっぱり道が混むということをお皆さん懸念されてるんであれば、絶対ここは商業施設じゃなきゃいけないって決めちゃわなくてもいいのかなと。例えば雇用のことでいえば、すごい高額な機械を持ってる工場、企業とかだったら、固定資産税の税収なんかも見込めたりします

し、だから何か商業施設って限定しなきゃ、ここはいけないんですかね。というちょっと質問なんですけど。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 森本地域整備推進室長。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 資料の41ページのあたりを御覧いただきたいと思います。

この地区計画を定めるに当たりまして、先ほどちょっと説明をさせていただきましたけれども、立地適正化計画というのをその前に定めております。この立地適正化計画の中で、赤磐市の弱いところとか、不足しているところ、そういったところの整理をまずはしております。その課題を克服するために、今回都市計画の変更によって、要はこの必要なエリアを生み出していこうという整理をしています。そのときに赤磐市の課題として、商業販売額が非常に他市に比べて低いこと、それから工業出荷額、これについても他市に比べて非常に低いという状況がございました。こういったところを改善して、持続可能なまちづくりを進めていくということを検討しています。

そうしたときに、今回都市計画の変更でこのエリアを市街化編入しておりますけれども、この市街化編入というのは非常にハードルが高い内容になります。このなけなしの土地を、その課題克服のために有効に活用するにはということで、こういうふうな赤磐市にない、この商業につきましては特に方針としては現在赤磐市にない交流、賑わいを創出する、また滞留、そういったものも創出するような商業施設というものを呼び込みたいエリアということで設定をしております。

先ほど言われました工業につきましては、40ページで紫色のエリアがあると思いますが、そこへ誘導していきたいということで、このエリアが賑わい交流、産業振興、そういったもの全般を担うエリアということで、こういった計画を作成しております。

○委員長（金谷文則君） 横山委員。

○委員（横山裕太君） 御説明ありがとうございます。

産業振興ゾーンが既にあるっていうのは分かっての質問ではあったんですけども、例えばなんですけども、さっきのやっぱり道の混雑っていうところの懸念があるというところで、ちょっといろんなハードルもあるんですけど、素人ながらの意見なんですけど、その商業施設、赤磐市に必要だということであれば、何でかんでここじゃなくてもいいのかなと思ひまして、というのが例えば桜が丘のマックスバリュの隣の元ショッピングモールの場所だとか、ああいうところにそういう商業施設を置くとかすることで、混雑の分散というのもできるのかなと思ひますし。だから、何でかんでここに商業施設を持ってこなきゃならないっていうわけでもないのかなとちょっと思うんですけども、いかがでしょうか。

○委員長（金谷文則君） ちょっと口を挟むようですけど、横山委員にしても、皆さんそうですけど、前の市長のときからこの委員会の中で、いろいろ9月に突然コストコという話が市長のトップセールスで出てきたというところから、いろんなものが混迷、困窮をしてきた、会議の中で。じゃあ市が最初からそういう計画をしてたんなら、何でこの委員会の中で話がなかったんかというところから大きな問題となって、この選挙の大きな争点になってきて、そこで前市長のほうも元に戻って、ゼロベースに戻って、それから説明をして、それから市民の理解を得てやっていくと、こういうことになった。これはもう御承知のとおり、この委員会でも再度何回もその確認をしております。

その中で決められた、本来なら市のほう、市議会の中で検討しながらでも進むべきものがされてなかったいきさつと、そのコストコが来るというようなことになってきたいきさつ、それに関係する人たち、それにいろんな疑義があるから、それをちゃんと元へ戻してから前に進みましょうということで予算の凍結になってるわけで、その説明を1つずつ解いて、それからのスタート。だから、前田市長にもちゃんとお願いをしなきゃいけないけども、きちんと説明責任を果たすという約束なわけですから、どういういきさつであんなコストコという話が出てきて、皆さんがコストコ、コストコと言って、コストコがもう今にも来るんだという話になったのにもかかわらず、今岡本参与は何が来てもいいんだというような言い方をする、これは間違ってると思います。今まで説明してきたことと随分違う。いいかげんなことでは駄目ですよ。ただ、予算凍結してるのを解除してもらうために、何でもかんでもしてください、それから合併特例債があるからしなきゃいけないんだ、そんなので何十億円という借金をしながらやっていくような赤磐市じゃないと思いますよ。きちんと、こうやって、こういう理屈でこうなったんだというのを市民にしっかり理解してもらって、議会の中でもしてもらって、それから当然いいことならみんなで進めりゃいいわけで、それができないまま、ただやってしまう、そんなばかな話はありませんよ。

この委員会でも、委員会は継続して、市のほうも継続してやっとなるわけですから、その中でちゃんと説明をするという話になって、ゼロからスタートしようと言ってるのに、予算を予算をというようなことはちょっとおかしいような気がしますよ。説明の中でも、もうそのこと一番ベースになる説明をしないでおいて、今すぐ横山委員のほうにも説明するような内容ではないと私は委員長として考えてますけど。だから、ここで本当ならきちっと、今佐藤委員もおっしゃったけど、確かに前田市長にも入っていただいて、就任当初すぐですから、まだそれをどうするというのは決められてないから、今回私も呼びはしてませんが、今度の9月の議会までにはいろんな形で委員会を開きながら、その実態を解明して、市民にちゃんとつまびらかにして事業を進めていく、せつかく都市計画の区域が指定できたんですから、その中を有効に使っていく、その方法はどうやってやるのか、真剣にみんなで考えるべきだと思います。

ちょっと口を挟んで申し訳ないけど、多分今の議論をやっていたら、今日は終わりそうにないので、次回の委員会、本会議がありますけど、それを除いて7月は通常は委員会やりませんが、そこも含めてやって行って、しっかりみんなで議論をしていきたいと思いますので、どうしてこういう状況になってきたのか、今のコストコの話が出てきたのか、前市長が急にトップセールスをやっていたというようなことになってきたのか、そこら辺の説明をしっかりとお願いしたい。

今まででは参加して下さった執行部の部長連中も、自分たちでは分からないということで来ております。じゃあ誰が分かるんかという話で、分からないまま物を進めていくようなことにはならない。だったら、ちゃんと分かるところまで下がるなら下がってスタートしていく、そうしないと市民のお金を簡単に使うわけにはいきませんので、そこは自覚してやらなきゃいけないと思いますよ。

それからもう一つ、ちょっと私が意見を言っているのかと思いますが、今のこの図面だけでずっと協議してるんですけど、新しい方も入られて、現況が、例えば46ページなんかの場所も、航空写真のようなものがあって初めてよく分かると思うんです。この図面だけで何にも多分分からない、航空写真の現状がどうなのかということだって、当然分からせていただきたい。それから、47ページのところだって、この絵だけで分かる人が何人いらっしゃるか。どこの場所でどういうふうになるのか。赤い線はいっぱいあるわけで、そんな説明では分からないと思いますよ。だから、そういうものも次の委員会でもまた用意をして出していただくようにしかならない。

それから、予算を皆さんがこれですぐ認めてよろしいかと委員会で諮っていいのなら、それは皆さんいかがですかと委員長として諮りをしますけども、議論なしに諮っていいのかどうか、委員の皆さんにお伺いはしたいと思いますが。今日のどういうふうな後始末にするのか、何を求めて執行部は今の説明をされたのか、その他の部分、いかがですか。何を求めておられるんですか。今度の6月議会にかけの議案については、お聞きをして何の問題もないと思うんですけど、議論をしたりしていったないものをここでばっと提案されて、これで、はい、よろしいか、じゃあ次にまた提案しますなんていうわけにはいかんでしょう。何をしたいのか。どうしてほしいんですか。

○建設事業部長（桐谷文昭君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 桐谷建設事業部長。

○建設事業部長（桐谷文昭君） 執行留保を今されているものの説明を今させていただいた中で、1つはちょっと拠点という中の今区分が4つ、公共ゾーンの用地買収、それから市道岩田長尾線、それから青の地域、各道路、それから黄色の部分というところもございます。

それで、1つは市道岩田長尾線につきましては、拠点のこちらの民間ゾーンの話もあるんですけども、この市道整備につきましては、一応我々としても令和9年度ぐらいには開通をさせ

ていただいて、当然渋滞対策、それから市民の利便性の向上という観点から、少しそういうところはちょっと進めさせていただきたいという趣旨もございます。

予算が凍結されたままですとちょっと工事が、今やってる工事は終わるんですけども、次の工事が出せないということと、遅くなると、さっき委員長が合併特例債だということはあまり関係ないということもありましたが、ちょっとその期限というのもあって、工事の発注は多分もう下半期になると出してももう工事が終わらないというところもちょっとございましたので、少しそういうところも鑑みて、必要な部分だけでも認めていただければなということで、ちょっと今回提案を差上げた次第ではございます。

ただ、先ほど佐藤委員もおっしゃったように、しっかり新市長の意向をちゃんとまず確認をしないといけないといったところの御意見もございましたので、そこについてはまたちょっと市長のほうにも報告させていただいて、これから我々としてどうしていくのかというのは少し考えさせていただきたいなと思います。

○委員長（金谷文則君）　ということは、これは次回に持って行って話をさせていただいていいですか。

委員の皆さんどうですか。そうしないと、しっかり検討しないと、大変重要なことなので、安易にはできないと思いますよ。

それから、我々も知らない部分が多過ぎて、例えばこれもう申し訳ないけど、今の指定したエリアの中でも、埋蔵文化財があるところにこういうものやっけていくんだという計画を、地区計画を立てて、それがオーケーになってるわけですよ。本当にそれでいいのかっていうことも、委員会、それから議会の中で検討しないと、仮にそこをエリア指定してるから、そこへ来るはずだと。そう簡単に来るような問題じゃないんじゃないかなと。そこら辺のところもしっかり議論をしないと、地区計画、これやってしまったからいいっていうても、それ黙ってうそをついてやったようなもんで、こんなもん将来の市の発展にそのエリア、特に産業振興ゾーンのBゾーンの辺なんか、建てようがない。誰でも来てもらって、いろんなところの選択があるようなところを選定させるのが当たり前で、この40ページだけ見るだけだったら、誰だって、ああ、問題ないと思うけど、実際には今の46ページの絵を見たら、グリーンで囲ってるところは埋蔵文化財があるっていうのが最初から分かってるようなところをここに指定をしたっていう責任は、執行部を含めてありますよ。

あと、誰かこんなとこへすぐ来て、指定をしたからというて、ずっと耕作放棄地の形で、誰がここを面倒見るんですかっていうようなことも大きな問題にここはなと思う。それが我々委員会の責任ですよ、どういうふうにするか。こんなでいいんかと私は本当大きな声をしたんですけど、私が頭からそんなことを言うわけにいかないんですけど。そういうことも含めて、次回しっかり委員会でやらせていただいて、みんなが納得するような形をお願いしたい。

それで、現状ここがどんなに荒れてるかっていうことをみんな知らなきゃいけないと思いま

すよ。これここの航空写真を下さい、みんな見てもらうように。ここは市が作らなくていいからって言ったっていうふうに聞いているんですよ、耕作しなくていいからって。それも事実、県会議員のほうからもそんな話を聞きました。そんなことをやらせといて、できるわけないじゃないですか。はっきり言うときますよ。もうそんなこともはっきり解明しないと。言っていないだったら、県会議員が言うたことは間違っるとるんだし、地域の人も言っるとるの間違っるとる。

それから、説明会をしたっていうので17名の参加者、あそこ受益者というか、その関係者は何人いるんですかっていうことも話をしていかなきゃいけない。その人がオーケーって、何も意見が出なかったからいいですよなんていう問題じゃないでしょう。だから、物すごく根本的な問題から整理して、せっかく線引きしたところがいいようになるようにしていかないと、これは本当に苦労して線引きができたことだと思うんですよ。なかなかできることじゃないんだから、有効に利用できるようにしていかないと。その先にその中にある道を延伸していつつないでいく、その中を有効に利用するから道が要るということで、青いところだって、そういうことがはっきりしない限り、道だって必要でない話だったりするわけですよ。

だから、どっちが先か、今のお話でどっちが先なのかという話だけど、全部市が整備をして、それからウエルカムするんだというなら、それはそのように進めていかざるをいかんけど、最初は民民の全てのことだから知らないというところからのスタートで、ほとんどこの中での話がないまま、これは枝線かな、何かだから市道認定、市道と一緒にですからっていうようなところが急に話が出てきて、ここへ予算10億円近くのお金をつぎ込んでやっていくようなことになったわけですよ。もともとがだまし討ちをしてるようなことをやってきとって、それで市民のお金をたくさん使って、国にもうそをついたんじゃないかと思われるような方便でここが決定された、そんなのを私たちもこのまま継続して委員会としてやっていけるのか、そういうこともしっかり今度皆さんと話をしかなきゃいけないと思います。

ちょっと私としてはそういうふうな思いでいきますので、まとめとしてはちょっとすみません、今の説明をしていただいたものについては、進め方を委員の皆さんとそれから執行部としていかないと、大変大きな問題なので、今日出されたことをどうするのかっていうことは、今の話で前田市長と調整をされて、再度執行部のほうから提案をされるというふうに解釈していいですか、この件は。

委員の皆さん、そういうふうにお問い合わせしていいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それじゃあ、そのようにお願いをしておきます。

保田委員。

○委員（保田 守君） 金谷委員長が言われよった意見、もうそのとおりでなんですけど、私は9月以降、ずっとあれが進んでいきようる流れを見よって、一番にはこの業者でこれの工事が最後までいけるんだらうかという、土地の買取りですわね。そのことがずっと疑問で、選挙の

間中もいろんなところでそのことを言うてきました。その辺が皆さんも議場へおられたら、当時の市長とのやり取りで問題点というのは分かると思います。ただ、このままの業者で買取りを……。

○委員長（金谷文則君） 保田委員、ちょっと口を挟むようなけど、それこの後ちょっとどうしても執行部と、皆さんに提案するんですが、ちょっと現況がある程度分かっているとこがあって、その説明をいただくようになってるんで、そのときにしますので……。

○委員（保田 守君） いいですよ。

○委員長（金谷文則君） そのときをお願いします。

どうですか、私が一方的に言ってしまったようで申し訳なかったんですけど、そのように次からの会議で進めたいと思います。

それでは、そのようにさせてやってください。

以上で質疑を終了してよろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ないようですので、質疑を終了します。

次に、委員会の視察について協議をしたいと思います。

6月12日木曜日、午後2時30分から岡山市内のナカシマホールディングスのグループ会社へ視察を行いたいと考えております。これは、ナカシマホールディングスというのがこの進出を希望しているということは皆さん御承知のとおりだと思うんで、我々委員会としてもそこへ行って、どのようなお考えなのか、もう直接しっかり話を聞いていきたいというふうに思ってお話をしてたら、6月12日ということですので、委員会で視察に行きたいと考えております。いかがでございましょうか。

○委員（佐藤 武君） ちょっと時間を教えてください。

○委員長（金谷文則君） 6月12日木曜日の午後2時30分から、これは先方の都合もあってこの時間なんですけど、ぜひ委員会としては行きたい。午後2時にここを出発で、現地2時半ということですので、ぜひ先方もいろいろお話をしたいというようなこともあるようございしますので、お願いをしたいと思います。よろしければ、議長のほうへ委員派遣の申出をしたいと思います。よろしいか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 視察、大いに結構なんですけど、いわゆるそのナカシマホールディングスはいろんな業態があると思うんですが、ナカシマプロペラへの視察ということで、いわゆるその予定される、進出を希望される赤磐市への業態についても説明をしていただけるということですか。

○委員長（金谷文則君） ナカシマプロペラというのは私も聞いてないんです。ナカシマホー

ルディングスのグループ会社ということで、行ってみなきゃ分からない、行きたいところはどこなのか、そこで初めてはっきりするのかなというようなところで、もう何も情報としてはございませんが、来たいという企業があるということなので、そこへ皆さんで委員会も一緒に顔を出して、しっかり今までみたいに内緒の話にならないようにやるべきであろうということで、ぜひ視察、打合せをさせていただきたいというふうに思っております。

○委員（佐藤 武君） 結構です。

○委員長（金谷文則君） よろしいですかね。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） じゃあ、そのような形で議長に委員の派遣の申出をしたいと思しますので、よろしく願いをいたします。

それでは次に、先ほど保田委員のところでもちょっとお話をしましたが、新拠点整備関連の関係で非公開にしたい内容がございます。これはちょっと個人情報的な問題とか、まだまだちょっと公にはできないという問題がありまして、委員会の委員の皆さん方だけでお話を聞きたいということでさせてもらいたい。だから、秘密会ということでやりたいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） 異議がないということでございますので、それではこれより秘密会といたしますので、傍聴者の方は退席をお願いいたします。

なお、秘密会で知り得た情報につきましては、他人に漏えいすると罰せられることがございますので、十分注意をしていただきたいと思います。

これより秘密会といたします。

〔午前11時42分から午前11時57分まで秘密会〕

○委員長（金谷文則君） 以上で秘密会を終了したいと思います。

それでは、その他委員の皆さん、それから執行部から何かございましたら発言をお願いいたします。

○委員（保田 守君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 保田委員。

○委員（保田 守君） 今日説明を聞きよったら、ページの数字が物すごく小さくて、老眼が要る我々は、ページのあれっと思って、さっきも何もページ数を入れてないが思うて探してみたんですけど、何か点みたいなんがあって……。

○委員長（金谷文則君） 分かる。

○委員（保田 守君） どのページも楽に見えるように、大きいのと小さいのがあるんなら、大きいほうの数字を下へ入れてほしいと思います。よろしく申し上げます。

○委員長（金谷文則君） それに併せて、例えば進捗状況なんかも2つの部が同じような形

で、みんなが見やすいような形にちょっと一遍調整をお願いします。

事務局のほうも、そのようにお願いします。

○委員（保田 守君） よろしくをお願いします。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ないようでございますので、以上をもちまして産業建設常任委員会を閉会といたします。

午前11時59分 閉会